

中央公民館

佐倉地区の概要

佐倉地区は、京成電鉄軌道の北側の旧内郷村地区と南側の旧城下町地区とに大別される。内郷地区は、宮前地区で宅地開発が進み、その他の地区は田畑が広がっている。また、印旛沼を北にのぞみ、草ぶえの丘、市民の森、岩名運動公園などレジャー施設が数多く集まっている。京成電鉄とＪＲ総武本線、鹿島川にはさまれた旧城下町地区は、未だに城下町当時の面影が所々に残っており、国立歴史民俗博物館、佐倉城址、武家屋敷、順天堂記念館、平成１２年１１月一般公開された旧堀田邸など、歴史と文化の環境に恵まれている。また、城下町の面影を残す台地上に、市役所、裁判所、検察庁そして、市立図書館、市民体育館、市立美術館など公共施設が集中しており商店街も形成している。

公民館は、この台地の南側の低地に佐倉保育園と並んで建っている。付近には、平成１１年３月に建設された千葉県印旛合同庁舎がある。ＪＲ佐倉駅、京成佐倉駅ともに徒歩１５～２０分、最寄りバス停から５分の場所に位置する。佐倉地区の人口は平成２５年３月末日で、２９，８１２人で昨年に比べ６６人の増となっており、ここ１０年位は微増・微減を繰り返しつつ緩やかに減少している。

管 理 ・ 運 営 の 部

1. 公民館運営計画

運営方針

歴史のまち佐倉の生活・文化の向上と、ふるさと佐倉のまちづくりに携わる市民の連帯意識を高めるため、だれもが学習しやすい公民館、集会活動のよりどころとなる公民館、親睦を深める場となる公民館として生涯学習のねらいを達成すべく、社会教育活動の中心施設としてその役割を果たすことに努める。

努力目標

- 利用者に対して、快い対応をするように努める。
- より多くの人に利用してもらうよう施設設備の提供に工夫をすると共に、安全管理に努める。
- 各種の事業内容の充実に努める。

事業内容

1. 施設・備品の提供

地域住民各層の利用に応えるため、サービス業務の向上を図る。

(1) 施設の提供（団体、グループ単位）

- ① 利用時間 ○午前9時から午後9時まで。

ただし、月曜日と祝日は、午後5時まで。

- ② 休館日 第2・第4月曜日、及び年末・年始（12月28日～1月4日）。

(2) 備品の提供（団体、グループ単位）

館外貸与できるもの

机、椅子、拡声装置

2. 学級講座

学習機会の拡充と学習内容の充実に努めるため、学級講座の質的向上に努める。

幼児家庭教育学級、青少年教育講座、成人教育講座、佐倉市民カレッジ等の実施。

3. 講演会事業

継続的に学習することができない人のために、学習機会の提供を図る。

4. 団体育成

公民館利用グループ・サークル活動の育成と支援を行う。子ども会活動への支援、高齢者ボランティアグループの支援を行う。

5. 文化援助事業

行政機関、文化団体の教育文化行事への協力を図る。

文化団体発表会、文化祭、美術展、音楽鑑賞会、映画観賞会への支援を行う。

6. 広報事業

公民館の役割や各種文化行事等の情報提供。

中央公民館だよりの発行、各種館外催物、各種ポスター等の掲示、及びパンフレットの配布、公民館の役割や利用の仕方のパンフレット配布。

7. 展示事業

ロビー、展示ホールの効果的活用を図る。

利用者作品展、各種展示会の開催。

8. 図 書

図書館と連携の上、学習資料を収集し、活用する。

カレッジ図書コーナーの設置、家庭教育関係の資料の整備。

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
利用件数 (件)	6,962	7,105	6,965	6,554	6,780
利用人数 (人)	121,361	119,681	107,973	98,335	104,438
開館日数 (日)	333	333	333	334	333

事業の部

領域	事業名	内 容	対 象	期間・回数
家庭教育	幼児親子あそび 教室	幼児の心の成長と豊かな感受性の育成を担う、親と子のための学習講座。	幼児とその親 11 組	6/12・19・26 ・7/3・10 5 回
	お父さんと一緒に 食育講座	欠食や偏食などライフスタイルの変化による食生活の乱れが懸念される中、親子で正しい「食」の知識を身につけるとともに食の大切さを学ぶ。	小学生とその父親 4 組 (8 人)	8/26
青少年教育	ジュニアカヌースクール	印旛沼を利用したカヌープログラムを通して自然に触れ合う機会を提供する。ジュニアカヌースクール。	小学生 3～5 年生 15 人	6/23・30・7/14・28・ 8/17・18・19・9/15・ 19 9 回
	子どもの居場所作り	公民館を利用しているサークルが、小学生を対象に指導し、日頃の学習の成果を披露する。華道・工作・料理など。	小学生 延べ 99 人	7/24・26・30・8/3・ 6・8・19 7 回
		夏休み期間、主に学習室 2 を自主学習の場として提供する。	延べ 122 人	7/21～8/31
	通学合宿	子どもたちが生活体験をすることにより、協調性、自主性を育むとともに両親の大切さを感じる機会を提供する。	小学生 4・5・6 年生 23 人	佐倉小 9/23～9/26
	親子映画会	青少年対象の映像機材による地域の子どもたちの健全育成を図る。また、身近な場所で映画を上映することで子ども達が気軽に映像文化に親しむ機会を提供する。	小学生と親 延べ 1350 人	8/9・12/26・3/26
成人教育	佐倉っ子塾共通講座 1 「夏休み子供水辺探検ツアー」	環境保全課、根郷公民館と共催。谷津の生きものや、湧き水・地下水の流れ方などの水の流れについての講義と野外観察を通じて佐倉の川や自然環境を学ぶ。	小学生 20 人	7/25
	佐倉学入門講座 「佐倉・城下町 400 年と土井利勝」	「佐倉の歴史に興味があるけれども、きっかけがない」「これから佐倉の歴史を学んでみよう」という方々を対象に、佐倉城（鹿島城）を築城し、その城下町の整備を指導した佐倉の領主「土井利勝」をキーワードとして学習する。	成人 延べ 123 人	11/10・2/11・2/24 3 回

	佐倉学入門講座 「佐倉ゆかりの文学」	佐倉を学ぶ身近な題材として、佐倉にゆかりのある文学者について学ぶことにより郷土へ理解を深めると共に佐倉について学習し、郷土佐倉の創生につなげることを目的とする。	成人 延べ 126 人	9/2・9 2 回
	佐倉学専門講座 「印旛沼の文化と自然」	かけがえのない豊かな自然環境を次の世代に引き継いでいくために、佐倉市の自然環境の象徴である「印旛沼」について学ぶ。	成人 延べ 170 人	1/19・2/2・23・3/9 4 回
	印旛沼公開講座 「温故知新」 (共催事業)	かけがえのない豊かな自然環境を次の世代に引き継いでいくために、佐倉市の自然環境の象徴である印旛沼について学ぶ。印旛沼環境基金との共催事業。	成人 延べ 514 人	6/30・7/28・8/25・ 9/29・10/27・12/1 6 回
	地域づくり入門講座 祭り寿司に挑戦！	古くから房総半島の郷土料理として親しまれている太巻き寿司作りを行なうことで、米の消費拡大を図り、郷土料理を通して地域へのつながりと興味を深めることを目的とする。	成人 20 人	1/30
	コミュニティ事業・学びあい講座 「色で見つけよう あなたの魅力再発見！」	色を楽しんで生活に取り入れるきっかけとし、色を知ることによって世界が違って見えてくる経験をし、世界が広がっていくきっかけ作りとする。	成人 20 人	1/15・2/19・3/12 3 回
	パソコンイベント	初心者を対象に、パソコンに興味を持ってもらおうと同時に、カレッジ卒業生をボランティア講師として活用する。	パソコン初心者 成人 延べ 34 人	11/25 午前・午後 2 回
	映像教材貸出	保有教材 16 ミリフィルム 462 本 ビデオ教材 1,383 本 DVD教材 134 本	登録団体	随時
	佐倉学体験講座 「佐倉の民話及び佐倉こどもかるた普及事業のボランティア団体派遣事業」	【さくらっ古】佐倉に伝わる民話を題材とした読み聞かせ講座を行う。 【子都手留会】「佐倉こどもかるた」を使っかるたをすることにより、佐倉について学ぶ。 市民カレッジ卒業生グループを主体とした出前講座。	さくらっ古 幼稚園、小学生 1 ～6 年生 延べ 1,332 人 子都手留会 幼稚園～一般 延べ 241 人	さくらっ古 11 回 子都手留会 6 回
高齢者教育	佐倉市民カレッジ 《であい課程》 第 1 学年・第 2 学年 2 年間の学習コース			
		高齢社会のなかで、市民が健康で生きがいをもち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え実践をととした生涯学習の場とする。 「であい課程」では、主に一般教養	第 1 学年	
			1 組 50 人 2 組 50 人	5 月～2 月 34 回
		第 2 学年		

	《専攻課程》 第3学年・第4学年 2年間の学習コース (以下の4コース) あったか福祉コース ふるさと歴史コース さわやか情報コース ゆっくり元気コース	科目を学ぶ。その領域は、健康・家庭・ 生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・ 市政・福祉・国際理解・仲間づく り等の学習を行う。特に1年生は、学 ぶ意義から入り、仲間づくりに重点を 置いた。2年生は、まちづくりを重点 に考え、実践した。 「専攻課程」では、「であい課程」を 終了後、更に学びたい人のため専門別 に学習をした。卒業後の実践活動に役 立たせるために、体験学習、話し合い、 発表等の学習方法を取り入れた。 公開講座、ミニセミナー等を拡充 し、一般への学習機会の提供を図る。	1組 47人 2組 48人	5月～2月 34回
			第3学年	
			福祉コース 25人 歴史コース 18人 情報コース 19人 元気コース 25人	5月～2月 福祉、歴史、情報 コース 20回 元気コース 21回
			第4学年	
			福祉コース 23人 歴史コース 25人 情報コース 20人 元気コース 23人	5月～2月 歴史、情報、元気 コース 22回 福祉コース 23回
広 報 活 動	中央公民館だより	公民館の事業紹介や募集、地域の情報を提供する。	佐倉地区	1回 500部
	「なかま」	市内高齢者から広く原稿を募集し、市民の手による市民の「心の交流の場づくり」をめざす。	成人	毎月1回 各1,500部
	ホームページ	佐倉市立中央公民館の主催事業等を掲載して、情報の提供をする。	市民	随時
団 体 育 成	佐倉地区子ども会 育成会連絡協議会	子ども会の育成者を養成し、子ども会同士の交流を図る。	加盟子ども会 7団体	随時
	調理室利用者懇談会	調理室の効果的利用方法を考えると ともに、懇談を通して利用サークル間 の交流を図る。	利用団体代表者 13団体	6/25・12/10 2回
	16ミリ映写機 操作講習	視聴覚機器の操作を習得する機会を 提供し、映像機材の活用を図る。	社会教育団体 6人	6/30
	16ミリ映写機 点検事業	各施設所有の16ミリ映写機を老朽化 に伴う上映使用時のトラブル防止の ため、一括して点検を行う。	16ミリ映写機保有 施設19台	2/25～3/6

1. 家庭教育事業

幼児親子あそび教室

○開設趣旨 幼児にとって遊びは、生活上なくてはならない重要な学習であり、遊びを工夫し豊かにすることは、幼児の心と身体の成長に大切なことである。本講座は、幼児の心の成長と豊かな感受性の育成を担う、親と子のための学習講座として開設する。

○対象・人数 幼児とその親 11組

○開設期間 平成24年6月12日～平成24年7月10日
午前10時～11時30分 全5回

○学習目標 1. 身体で手本を示す親になりましょう。
2. 学んだことを生活の中で活かす努力をしましょう。
3. 子供の豊かな創造性を大切にし、友達づくりや他の親子との交流に努力しましょう。

○プログラム

回	月 日 (曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	講 師
1	6月12日 (火)	お友達になろう	自己紹介・リズム遊び エプロンシアター	川口はぎ江
2	6月19日 (火)	身近な物を使って遊ぼう	ハンカチ・タオル・シーツを 使って遊ぼう	川口はぎ江
3	6月26日 (火)	造形遊び	小麦粘土をつくって遊ぼう	川口はぎ江
4	7月 3日 (火)	絵の具遊び	絵の具を使って手がた押しや 指絵遊びをしよう	川口はぎ江
5	7月10日 (火)	体を動かそう	楽しい運動会	川口はぎ江

○講座を終えて

昨年度の2歳児親子あそび教室の開催が2～3月だったため、応募人数が少なかった。1回目は初対面同士のため、子どもたちは恥ずかしがって保護者の後ろに隠れてしまう子が多かったが、2回目、3回目と回数を重ねるごとに、人数が少なかったのがかえって良かったのか子ども同士、保護者同士のコミュニケーションや触れ合う機会が増えていった。特に絵具遊びでは大きな画用紙に絵の具で動物の画をスポンジで描いたり、手がたを押ししたりと家ではなかなか出来ない遊びだったので、子どもたちは楽しんでた。小麦粘土づくりでは、真剣に粘土で動物を作る子や、保護者自身が楽しんで作るなど、面白い回になった。色々な保護者からは、講師から保護者の心構え等の話が聞けて、ただ子どもと遊ぶだけでなくとても勉強になったとの声があった。このようにお母さんも5回の講座で沢山のことを学んだようだ。

受講者はこの講座で、身近にあるもので遊びを工夫することや、家ではなかなか出来ない遊びをすることにより、子どもとじっくり向き合って子育てを楽しむことの大切さを学ぶきっかけを得たのではないだろうか。

お父さんと一緒に食育講座

- 開設趣旨 欠食や偏食などライフスタイルの変化による食生活の乱れが子どもたちの健康に及ぼす害として懸念される中で、親子で正しい「食」の知識を身につけ、「食」の楽しさ、大切さを学ぶ。

また、父親の育児・家事参加を促すことにより、男女平等参画の推進と、家庭教育の充実を図る。

- 対象・人数 小学生とその父親 4組（8人）

- 開設期間 平成24年8月26日（日）
10:00～14:00

- 学習目標 1. 食材について知る。
2. 食の機能と食文化について学ぶ。
3. 父子の交流を深める。

- 講師 親父の食事学同好会 奥平英明

- 会場 中央公民館 調理室

- 学習内容 調理実習
メニュー ハンバーグ、ポテトサラダ

- 講座を終えて

平成22年度より男女共同参画の観点を取り入れ、対象をお父さんと子供に限定して募集した食育講座である。今年度の参加申込は父子4組（8人）となった。

この講座は調理実習をするだけでなく、実習を通して、栄養・衛生的な調理方法・食事の際のルール等を学び、「食」についての理解を深めることを目的としている。今年度は、ハンバーグとポテトサラダを作り、主菜と副菜の栄養バランスについて考える契機とした。

参加した父親からは「普段は忙しく、なかなか子供とゆっくり向き合えないが、今日は楽しく参加できました」といった感想が寄せられ、子どもたちからも「ハンバーグがおいしかった」「また来たい」という感想があった。

今年度は、父親と子供に参加対象を限定してから3年目となる。平成21年度以前の、両親とも参加が可能であった頃は、20人の募集に対し申込者がほぼ満員であった事に比べると、明らかに参加を申し込む人数が少なくなっている。果たして、対象を父親に限定することが本当の男女平等といえるか、また、母子家庭を参加対象者から外している現状がこのままで良いか等、事業の募集方法について、今一度の見直しが必要なようにも感じた。

講座の最後は講師から、食事した後には、自分の食器をきちんと衛生的に後始末することが示され、親子の料理教室はなごやかな雰囲気の中で終了した。

2. 青少年教育事業

ジュニアカヌースクール

- 開設趣旨 カヌーを体験することにより、地元の印旛沼に親しむとともに、年齢の異なる仲間との団体活動をととして社会性・自発性の涵養を図る。

○対 象 小学生3年生～5年生 15人

○開催期間 平成24年6月23日(土)から9月29日(土) 全9回
午前10時から正午まで

○指導者 佐倉市カヌー協会

○学習プログラム

回	日 時	テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者
1	6月23日(土)	開講式・実習	講義と会場見学・実技	佐倉市カヌー協会
2	6月30日(土)	実習	基本技術の習得	〃
3	7月14日(土)	〃	〃	〃
4	7月28日(土)	〃	〃	〃
5	8月17日(金)	〃	〃	〃
6	8月18日(土)	〃	〃	〃
7	8月19日(日)	〃	〃	〃
8	9月15日(土)	〃	〃	〃
9	9月29日(土)	〃	〃	〃

○事業を終えて

基本的な技能の習得を中心とした講座を実施した。プログラムの後半では、ボールを使ったり、レースをしたり、さまざまな形状のカヌーに挑戦したりし、より高度な技能を身につけることができた。

練習場所は佐倉市カヌー協会が普段の練習場所としている印旛沼中央水路であり、子どもたちはカヌーの体験を通してふるさと佐倉の自然に親しんだ。

小学3～5年生という学年の違う子どもたちであったが、回数を重ねるにつれ、準備・後片付けを皆で協力して自発的に行うようになっていった。

8月下旬に行われた千葉県小学生新人カヌー大会には受講者5人が参加し、本講座での学習の成果を試した。本講座終了後も引き続き佐倉市カヌー協会のスクールで練習している児童もいる。

子どもの居場所作り

○開設趣旨 放課後の子どもたちの居場所を公民館の中に整備し、公民館利用グループの学習に子どもを参加させることで、公民館利用グループの学習の成果を子どもたちに提供し、子どもたちと地域グループの交流を目指す「子どもの居場所作り」を開設した。

○対 象 小学生(主に佐倉地区4小学校)

○開催期間 小学生の夏休み期間

○学習プログラム

教室名	日程	人数	参加グループ名
いけばな教室	7/24・26・30	27	佐倉市華道連盟
知っている?こんな遊び一緒に遊ぼう	8/3	17	中途失聴者・難聴者協会
子供そば打ち体験教室	8/6	10	そば打ち愛好会
竹コブター	8/8	25	とばそう会
水ロケット	8/19	20	お〜い遊ぼう会

ふいてみようリコーダー	中止	-	-
-------------	----	---	---

○事業を終えて

平成17年度から始めた事業である。公民館利用グループの協力を得て、5団体の公民館利用グループにより実施した。ふいてみようリコーダーについては、参加者が集まらず中止となったが、今年度は全体で、延べ99人の小学生の参加があった。一人で幾つもの教室に参加した児童もいた。

今日の少子化の流れの中で、地域の住民と関わることにより、子どもたちが地域社会に馴染む機会を作る「子どもの居場所作り」は、たいへん意義のある事業であると言える。また、子どもたちの受け入れ側である公民館利用グループにとっても、子どもたちとの交流は、新鮮な気持ちで活動することのできる貴重な体験となった。実際に、講師をつとめた公民館利用グループ側の参加者からは、「子どもたちの楽しそうな顔を見ていると、自分も気持ちが明るくなる。大人だけで学ぶよりも、子どもに教えることで気持ちにハリが出るし、自分が学んだ知識の確認にもなる。」という言葉をいただいた。

また今年度は、初めて中途失聴者・難聴者協会の方が講師となり、子どもたちと触れ合う中で、障碍のある方に対する子どもたちの理解を育むことができたのではないかと考えている。

世代間交流の場として、地域に開かれた公民館の中の子供の居場所として、長く続けていきたい事業のひとつである。

通学合宿

○開設趣旨 子どもたちが生活体験をすることにより、協調性、自主性を育むとともに両親の大切さを感じる機会を提供する。また、両親には、子ども離れることで日頃の親子関係を考える機会を提供する。そして、スタッフに地域の人材を入れることで、地域で子どもを育てる意識を啓発する。

○対象・人数 佐倉小児童（4～6年生）23人

○期間・回数 平成24年9月23日（日）～平成24年9月26日（水） 3泊4日

○学習目的

1. お互いの立場や役割を理解し、協力し合う心を育む。
2. 日常生活に必要な生活技能を習得する。
3. 子どもの自律と自立による生きる力 “社会性・責任感・協調性・他人を思いやるやさしさ・規律意識。忍耐力を育む。

○指導者 地域人材 千葉敬愛短期大学生 佐倉市民カレッジ生 佐倉高校生 公民館職員

○プログラム

月 日（曜日）	学 習 内 容	会 場	参加者数
9月23日（日）～ 9月26日（水）	開校式 ・ 献立決め・買物・朝食・夕食（調理、後片付け）・洗濯・入浴・清掃 閉校式	中央公民館	佐倉小児童23人、敬愛短期大学学生カウンセラー6人、市民カレッジボランティア20人、佐倉高校生ボランティア15人、公民館職員5人

○講座を終えて

佐倉小学校の通学合宿では、当初、児童21人募集のところ45人の応募があったため、定員を増や

し23人で実施しました。当事業においては市民カレッジ生をはじめ、41人のボランティアの方々に参加いただき、料理や買い物などの生活体験や登下校の付き添いなどをサポートしていただいている。

通学合宿期間中は、子ども達が班ごとに、約35人分の朝食・夕食の献立決めから、買い物、調理、盛付け、片付けまでを行う。また掃除、洗濯、宿題をしながら普段どおり学校に通うため、4日間大変厳しいスケジュールではあったが、ほとんどの児童のアンケートから「働くことや協力すること大切さがわかった」「みんなと協力できてよかった」との声が聞かれました。また参加児童全員が「親の大変さわかった」と回答するなど、親元を離れ、自分達のことを自分達でやってみることで、家族の見えない大変さを感じてくれた。

なお今回から、千葉敬愛短期大学生に学生カウンセラーとして協力をいただいたが、子ども達と4日間共にすごしてくれたおかげで、子ども達への細やかな配慮が可能になり、活動も比較的スムーズに進めることができた。

3. 成人教育事業

地域づくり入門講座『祭り寿司に挑戦！』

○開設趣旨

「食」の変化や多様化のなかで、減少する米の消費を拡大し食料自給率をあげるために、様々な取り組みがなされています。

本地域づくり講座では、古くから房総半島の郷土料理として親しまれている太巻き寿司作りを行なうことで、米の消費拡大を図り、郷土料理を通して地域へのつながりと興味を深めることを目的とする。

○対象・人数

市内在住・在勤の方（成人）20人

○日時

平成25年1月30日（水） 10時00分～15時00分

○指導者 若梅 裕子（アシスタント：永井 久枝）

○プログラム

デモンストレーション	・ 椿（太巻き） ・ 四海巻き（太巻き）	参加人数 20人
実習メニュー	・ 椿（ハーフサイズ） ・ 四海巻き（ハーフサイズ） ※太巻きは米を4合使うため、持ち帰り用の実習は、食べやすいハーフサイズとした。	

○講座を終えて

中央公民館では成人向けの講座として、祭り寿司の調理実習を行った。当日は、デモンストレーションから始まり、講師から調理の流れやコツ等の説明があり、その後参加者が4グループに分かれて調理実習を行った。

当日は、料理経験のある参加者が多いということもあり、スムーズに進行することができた。参加者からは是非またこのような講座を開催してほしいとの声を多数いただくことができた。

地域の講師による調理実習、特に郷土料理である祭り寿司作りを行なうことで、仲間づくり・地域

づくりに繋げることができ、引き続き次年度以降も続けていきたい事業となった。

パソコンイベント

○開設趣旨 初級者を対象にパソコンに興味を持ってもらう講座を開くとともに、情報分野の裾野を発展させるよう図る。

○対 象 一般成人 34人

○開設日時 平成24年11月25日(日) 午前の部 9:40～11:30

午後の部 13:00～14:50

(※午前・午後とも同じ内容)

○プログラム

回	時間	学習内容	パソコンスタッフ	参加者数
1	午前の部 9:40～11:30	W o r d で年賀状を作ろう！	市民カレッジ情報コース卒業生 16期・17期生 26人	19人
2	午後の部 13:00～14:50	W o r d で年賀状を作ろう！	市民カレッジ情報コース卒業生 16期・17期生 26人	15人

○事業を終えて

講座の内容として「W o r d で年賀状を作ろう！」を6年連続で実施した。今年度は、公民館所有のパソコン(Windows 7)と個人持ち込みのパソコンで実施した。初心者を対象としているため個別指導で対応し、内容は最小限にした。個人持ち込みのパソコンは、Windows 7だけでなくWindowsXPもあったが、個別指導であったため、対応することができた。

企画・準備の段階からパソコンスタッフ(市民カレッジ情報コース卒業生)の協力を得ながら進めたため、テキストの作成、当日の役割分担などは問題がなかった。しかし、スタッフにより技術の差があり、参加者の満足度が一定ではなかった。

また、持ち込んだパソコンの操作をスタッフが行うことにより、故障等を引き起こしてしまう可能性が考えられる。今後、参加者のパソコンの持ち込みについて見直す必要がある。

佐倉学入門講座「佐倉・城下町400年と土井利勝」

○開設趣旨

「佐倉の歴史に興味があるけれども、きっかけがない」「これから佐倉の歴史を学んでみよう」という方々を対象に、佐倉城(鹿島城)を築城し、その城下町の整備を指導した佐倉の領主「土井利勝」をキーワードとして学習する。

現在の佐倉市の基礎となった江戸時代の佐倉を学習することによって、佐倉に愛着を持ち、ふるさと創生につなげることを目的とする。

○対象・人数 一般・講座：各100人

○期間・回数 散策：平成24年11月10日(土)・12月1日(土) 2回

講義：平成25年2月24日(日) 1回

- 学習目的
1. なぜ歴史のまち佐倉といわれているのか、その一つである城下町佐倉を知ることから学び始める。
 2. 郷土愛を育み、ふるさと佐倉創生への意欲を養う。

○指導者 散策：NPO法人佐倉一里塚)
講義：柴裕之(東洋大学非常勤講師、千葉県文書館)

○プログラム

講座

回	月 日 (曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	1 1 月 1 0 日 (土)	佐倉の城下町を学ぶ	新町周辺散策	NPO法人 佐倉一里塚	2 1 人
2	1 2 月 1 日 (土)	佐倉の城下町を学ぶ	新町周辺散策	NPO法人 佐倉一里塚	2 6 人
3	2 月 2 4 日 (日)	土井利勝以前の佐倉を学ぶ	徳川家康の関東入国と武田信吉一豊臣政権下の佐倉一	柴裕之(東洋大学非常勤講師)	7 6 人

○講座を終えて

平成21年度から「土井利勝」についての講座を開催している。歴史の町佐倉といいながら取り上げる時代は、幕末・明治時代に偏りがちだが、現代の佐倉市の都市計画につながる佐倉城とその城下町が整備された時代の前後を知る契機として計画した。

次年度以降も、大学等の日本史研究者を講師に加え、最新の研究成果を取り入れ、散策も継続いたします。「佐倉・城下町400年」については平成29年度まで続く記念事業なので、今後取り上げる内容について検討していく必要があると思う。

佐倉学入門講座「佐倉ゆかりの文学」

○開設趣旨

「これから佐倉を学んでみたい」という方々を対象に、佐倉を学ぶ身近な題材として、佐倉にゆかりのある文学者について学ぶことにより郷土へ理解を深めると共に佐倉について学習し、郷土佐倉の創生につなげることを目的とする。

○対象・人数 一般 90人

○期間・回数 平成24年9月2日(日)・9月9日(日) 2回

○指導者 作家 高比良 直美

○プログラム

回	月 日 (曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	9 月 2 日 (日)	佐倉ゆかりの文学①	佐倉ゆかりの文学者・吉川英治と今東光	作家 高比良直美	7 0 人
2	9 月 9 日 (日)	佐倉ゆかりの文学②	正岡子規の佐倉訪問	作家 高比良直美	5 6 人

○講座を終えて

佐倉にはゆかりの著名な作家と作品が数多く存在している。その中で今回は今東光、吉川英治、正岡子規の3人の作家・作品について学ぶものである。

受講者の感想として、「佐倉ゆかり文学者をシリーズにしてほしい」「判り易かった」「もっと時間をとってほしい」等との感想がありました。このようなアンケートから、今後も佐倉ゆかりの文学者をテーマに継続していきたい事業であると感じた。

佐倉学専門講座「印旛沼の文化と自然」

○開設趣旨 かけがえのない豊かな自然環境を次の世代に引き継いでいくために、佐倉市の自然環境の象徴である「印旛沼」について学ぶ。印旛沼の文化・歴史・自然を学習し、郷土佐倉の地域文化の創生につなげる。

○対 象 一般成人 90

○開設日時 平成25年1月19日・2月2日・2月23日・3月9日 全4回（土曜日）
午後1時30分～3時30分

○学習目標

1. 佐倉市のシンボルでもある印旛沼の自然と環境、文化と歴史について学習する。
2. 郷土愛を育み、ふるさと佐倉創生への意欲を養う。

○学習プログラム

回数	月日（曜日）	学習内容	講 師	参加者
1	1月19日（土）	小説家田山花袋と印旛沼	郷土文学研究者 中谷 順子	44人
2	2月2日（土）	利根川図志と印旛沼	元成田高校教諭 鎗木 行廣	50人
3	2月23日（土）	印旛沼の自然 佐倉の湧水	NPO法人水環境研究所 今橋 正征・田村 嘉之	34人
4	3月9日（土）	印旛沼の魚類の変遷	千葉県水産総合研究センター 内水面水産研究所 主席研究員 川津 浩二	42人

○事業を終えて

本事業は、「佐倉学」の中の1講座として開講した。

第1回・第2回は文化面からの講義、第3回・第4回は自然面からの講義とした。

第1回の「小説家田山花袋と印旛沼」では、田山花袋の小説の中で描かれている明治の印旛沼周辺の風景や、田山花袋の人生・人物像について学習した。

第2回の「利根川図志と印旛沼」では、150年以上前に印旛沼地域について書かれた地誌から、当時の印旛沼の情景について学習した。

第3回の「印旛沼の自然 佐倉の湧水」では、水循環や湧水のしくみ、印旛沼周辺の湧水の水質・特徴について学習した。

第4回の「印旛沼の魚類の変遷」では、印旛沼に生息する古来の魚種や外来種の生態と変遷のほか、漁法についても学習した。

参加者から、講座の中で現地を訪れる機会をぜひ設けてほしい、という声もあった。

佐倉学体験講座 ～佐倉の民話及び佐倉こどもかるた普及事業のボランティア団体派遣事業～

○開設趣旨 佐倉学関連事業の一つとして、市内小学校、教育センター、中央公民館が連携して、子どもたちに「佐倉学」を総合的に学べる場を提供するとともに、佐倉学の普及を図るため、佐倉市民カレッジ卒業生で結成された、民話を語るボランティア団体「さくらっ古」と「佐倉こどもかるた子都手留会」を市内小学校の児童を対象に派遣し、佐倉に伝わる民話の語りべや佐倉こどもかるたを通して、郷土愛を育むことを目的としています。

○対象・人数 市内小学生 1年生～6年生（「佐倉こどもかるた子都手留会」については一般も対象）

○期間・回数 平成24年4月1日～平成25年3月31日
・さくらっ古：全11回 延べ1,332人

・子都手留会：全6回 延べ241人

○学習プログラム

【さくらっ古】

回数	月日(曜日)	民話の題名	学校名	対象・人数
1	5月11日(金) 10:30～11:30	① あざみごんげん ② 八本目の足 ③ ききみみずきん ほか	和田小学校	小学生：94人 幼稚園児：26人
2	5月25日(水) 10:40～11:25	① 印旛沼の主 ② 姥が池物語 ③ 松虫姫 ほか	青菅小学校	4年生：52人
3	6月22日(金) 9:20～12:05	① たんたん山 ② 松虫姫 ③ てんぐにさそわれ京見物 ほか	根郷小学校	3年生：105人
4	7月13日(金) 9:30～10:15	① ききみみずきん ② 反物地蔵 ③ 坂田の梅 ほか	千代田小学校	1年生：50人 2年生：45人
5	9月28日(金) 9:25～10:15	① はっちむぎつね ② むかしあったって ③ 八本目の足 ほか	臼井小学校	1・2年生：117人
6	10月12日(金) 9:30～12:15	① 印旛沼の鬼童丸 ② カムロちゃん ③ ピョントコショ ほか	染井野小学校	1年生：42人 2年生：47人 3年生：63人
7	11月9日(金) 10:30～11:15	④ 反物地蔵 ⑤ 雪女 ⑥ カムロちゃん ほか	下志津小学校	2年生：34人
8	1月11日(金) 8:35～11:25	① 佐倉宗吾物語 ② 坂田の梅 ③ はっちむぎつね ほか	南志津小学校	1・2年生：127人 3・4年生：117人 5年生：40人
9	1月18日(金) 11:30～12:15	① 反物地蔵 ② てんぐとかっぱとかみなり どん ③ 坂田の梅 ほか	間野台小学校	3年生：95人
10	1月25日(金) 9:25～11:25	④ 親はうま酒、子は清水 ⑤ 阿辰の祠 ⑥ おしどりの悲しみ ほか	寺崎小学校	3年生：86人 4年生：67人

1 1	2月8日（金） 9:15 ～12:15	⑦ 坂田の梅 ⑧ たべられたやまんば ⑨ 雪女 ほか	小竹小学校	2年生：52人 3年生：29人 4年生：44人
-----	------------------------	----------------------------------	-------	-------------------------------

【子都手留会】

回数	月日(曜日)	団体名	対象・人数
1	8月6日（土）	志津公民館	「志津市民大学・しづ学入門」受講生：37人
2	11月26日（土）	佐倉地区子供会育成会 連絡協議会	小学1年生～一般：35人
3	12月11日（日）	志津公民館	佐倉っ子塾・志津こども教室・手作り工房：13人
4	1月16日（月）	寺崎小学校	1年生：27人 4年生：30人
5	1月17日（火）	染井野小学校	3年生：61人
6	2月7日（火）	佐倉幼稚園	年長組：38人

○事業を終えて

この事業は、佐倉市民カレッジ「まちづくり」の授業から誕生している2団体の派遣事業です。

『さくらっ古』は、平成17年6月から活動を行っており、毎年多くの小学校からの派遣依頼をいただいております。また、さくらっ古独自の活動も活発で、児童センターや学童等定期的に公演を行っているとのことで、今後もさらなる活動が期待されます。

『子都手留会』は、かるたの作成等準備の期間を経て、平成20年11月より活動を開始しています。チラシ等の配布や各小学校に直接出向き宣伝する事により、昨年度よりも派遣回数が増え成果が上がっていると思われます。今年度の小学校への派遣活動は3団体でした。志津公民館祭や和田ふるさとまつり等、各地域でのイベントに今後も引き続き参加すること、これからも各小学校に直接チラシの配布をお願いしたりとこれからも「かるた」の存在と活動内容をアピールしていく必要があると感じました。

コミュニティ事業・学びあい講座 「色で見つけよう あなたの魅力再発見！」

○開設趣旨 本講座は、市民公募による講師の企画に基づき、コミュニティ事業・学びあい講座として開設する。

「色を生活にとり入れよう！」「色で人生に“彩”を」をコンセプトに、色を楽しんで生活に取り入れるきっかけとし、色を知ることによって世界が違って見えてくる経験をし、世界が広がっていくきっかけ作りとする。

○対象・人数 市内在住・在勤の方 20人

○期間・回数 平成 25 年 1 月 15 日（火）・2 月 19 日（火）・3 月 12 日（火）全 3 回

○学習目的 ①普段何気なく接している「色」について、見える仕組みを学ぶ
②カラーコーディネイトや色彩心理について学び、日常生活を豊かにする

○講 師 桐田みちよ（色彩検定協会認定講師・一級カラーコーディネーター）

○プログラム

	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	1 月 15 日（火） 10 時～12 時	色彩基礎編～その色の選択には理由(わけ)があった～	簡単に例をとりあげながら、色のなるほどを知り、2 回目、3 回目への理解を助ける	桐田みちよ	14 人
2	2 月 19 日（火） 10 時～12 時	似合う色、パーソナルカラー編～損してませんか？その色選び～	実際に布をあててみて他人から見て自分がどんな風に見えるのかを試し、自分に似合う色がどんなものかを知る	桐田みちよ	20 人
3	3 月 12 日（火） 10 時～12 時	好きな色、カラー心理編～好きな色が自分を映し出すって本当？～	塗り絵で色の選び方、塗り方の解説、色自身のメッセージを学ぶ	桐田みちよ	19 人

○講座を終えて

本講座は「コミュニティ事業」の「学びあい講座」として、市民公募を行い選定された講師の企画に基づき実施した。近年の公民館にはあまりない内容であったためか、広報で募集を開始した初日の昼ごろには定員に達し、その後も相当数の申込をお断りすることとなった。第1回は前夜からの積雪の影響で6人が欠席となったが、講師、参加者の自己紹介の後、講師が様々な実例を示しながら色の見える仕組みなど、色彩の基礎の講義を行い、参加者は興味深く熱心に聴いている姿が見られた。配色カードを切って色相環に張り付けるといった細かい作業の宿題が出されたが、皆がきれいに仕上げてきたことから、参加者の熱意がうかがえた。第2回はグループに分かれて布をあててみて講師の助言を受けながら互いにどの色が似合うかを話し合った。参加者同士が交流を深める良い機会となった。第3回は塗り絵を行ったが、参加者それぞれが様々な塗り方をしており、それぞれどのような意味があるのか、どんな性格なのかを解説してもらい、熱心に聴いている様子が伺えた。各回とも終了後参加者が講師に積極的に質問している姿も見られた。アンケートの結果を見ても、内容について7割が「大変良い」3割が「良い」と答えており、「続きを期待している」「もっと学習を深めたい」などの意見もあり、大変好評だったと言える。今回は「学びあい講座」ということで講師の「地域で役立ちたい」という熱意で実施できたが、講師はプロのカラーコーディネーターであり、民間のカルチャーセンターでも同様の教室があることを考えると、公民館で実施することの意義については疑問が残る。

4. 高齢者教育事業

四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」

1. 開設までの経緯

中央公民館では、年々増加する高齢者が、社会の変化とともに歩み、自己の能力を伸ばし社会活動へ参加し充実した生き方ができるよう、昭和53年5月に「佐倉市高齢者短期大学校」(以下短大)を開設した。

短大が数年経過すると学生の学習意欲が高まり、卒業した学生からさらに学びたいという希望が生まれ、短大6期生より自主的に2年間の学習を行う「生きがい学園」が誕生した。

また、短大生たちの中で4年間続けて学ぶことの意義が認識され、短大の学習内容のひとつである「市長への提言」にて「高齢者のための四年制の大学校の設置」という提言がなされた。そして、公民館運営審議会委員、福祉関係有識者、短大卒業生を含めた「高齢者の望ましい姿を考える会」が発足し、四年制大学校の設置の概要と方向性として、地域活動の実践、郷土佐倉を愛する心の育成、40歳以上への学習機会の提供などが示された。

このような経緯を踏まえて、公民館棟に接続して四年制大学校の専用校舎を建設し、「佐倉市民カレッジ」という名称のもと平成4年5月に開設した。初年度は40歳以上60歳未満の20人を含む第1学年100人、短大の卒業生が編入した第3学年96人の2つの学年によりスタートした。そして、平成5年度より新1年生と短大の編入生である新3年生を含めた4学年が揃い、本格的な四年制大学校としての歩みを始めた。

2. 開設の趣旨

佐倉市民カレッジは、高齢化社会（現在は超高齢社会）の中で、市民が健康で生きがいをもち、地域との連携をもちながら住みよいまちづくりを考え、実践をとおして生涯学習のできる場となるよう開設されている。

また、佐倉市民カレッジ（以下、市民カレッジという。）では高齢者のみならず、高齢準備期である40歳代からの人にも学習の機会を提供し、高齢者と互いに学び、支え合うことを大切なねらいとしている。

3. 入学対象・定員

(1) 入学対象者

- ①佐倉市に在住する市民で、健康で継続して学習できる人
- ②積極的に自主学習ができる人
- ③卒業後は地域活動に積極的に参加できる人

(2) 定員：100人（年齢別募集）

※各学年の年齢構成は以下のとおり

60歳以上	80人
40歳から59歳まで	20人

なお、平成24年度の応募・入学状況は以下のとおりである。

募集学年	募 集 定 員	応 募 数	入 学 者 数
第1学年	60歳以上 80人	155人	95人
	40歳から59歳まで 20人	5人	5人
	計 100人	計 160人	計 100人

※平成24年度の学生数

学 年	クラス コース	入学・進級者		修了・卒業者	
		人 数	小 計	人 数	小 計
第1学年	1 組	5 0	1 0 0	4 9	9 6
	2 組	5 0		4 7	
第2学年	1 組	4 7	9 5	4 6	9 1
	2 組	4 8		4 5	
第3学年	福 祉	2 5	8 7	2 4	8 3
	歴 史	1 8		1 8	
	情 報	1 9		1 7	
	元 気	2 5		2 4	
第4学年	福 祉	2 3	9 1	2 3	9 0
	歴 史	2 5		2 4	
	情 報	2 0		2 0	
	元 気	2 3		2 3	
計		3 7 3	3 7 3	3 6 0	3 6 0

4. 佐倉市民カレッジ運営委員会

市民カレッジには、佐倉市民カレッジ運営委員会を設置している。委員会は佐倉市公民館運営審議会委員、佐倉市民カレッジ卒業生、識見を有する人等によって構成している。

また、運営委員会は市民カレッジの運営や学習内容の方針、学生の進級などについて審議する。

・佐倉市民カレッジ運営委員会委員

	役 職	人数	氏 名
1	佐倉市教育委員会教育長	1	葛西 広子
2	佐倉市公民館運営審議会委員長	1	慶田 康郎
3	市民カレッジ卒業生代表	3	海保 豪 田中 郁三 友松 清子
4	識見を有する人	5	高比良 直美 遠山 正博 堀川 武 左奈田 雄一 六崎 美知代

※平成24年4月1日現在

5. 佐倉市民カレッジの学習内容

(1) 「であい課程」の学習

市民カレッジの学習期間は4年間であるが、その前半の2年間は「であい課程」という。主に一般教養として、佐倉の歴史、文化、健康、家庭、生きがい、法律、環境、市政、福祉、経済、等の広い分野を学び、共に学ぶ仲間をつくる。

また、「であい課程」では、今までの生活になかった自分とであい、仲間とであい、地域にであう中で、新たな生きがいを見つけることが学習のねらいとなっている。

「であい課程」2年間の学習日数は70日程度で、約132単位に及ぶ。その学習形態は講義形式のほか、話し合い、身近な公共施設などについて学ぶ市内めぐり、いくつかのグループに分かれ、テーマ

を設定してその内容について討議し、代表者が発表するグループ発表、また個人発表、健康運動などの実習などと様々である。このほか、学生が自ら考え、自己責任において行う地域活動の自己申告取得単位制度を設けている。

「であい課程」1年では、「私の生きがい」をどのようなものに求めているか、何が生きがいになっているか等自分の生きがいについて考え、お互いに発表し合って相互理解を深め、文集「私の生きがい」にまとめる課題がある。

2年の、「市政を学ぶ」の学習テーマでは、実際に市政に携わっている市役所の職員等を講師として招き、市民公益活動の推進、基本計画と財政、環境と環境保全、福祉と健康、教育施策「佐倉学」等について学習する。それをもとに、個々に自分の考えるまちづくり構想をもち、各グループに分かれて実践活動を行い、その成果を「まちづくり実践報告会」で発表した。一連の学習の過程で、個々に市政についての理解を深めるのが大きなねらいである。

なお、平成24年度から参加型の講義を加えた。具体的には、千葉大学大学院准教授による「住民参加のまちづくり」では、付せんを利用して意見集約する手法の体験、千葉地方検察庁事務官による「裁判員制度について」では模擬裁判、佐倉市八街市酒々井町消防組合による「佐倉市の震災対策」では避難訓練を行った。

(2) 「専攻課程」の学習

3年生からの「専攻課程」では、講義と実践をとおして、卒業後も地域で生き生きと活動ができるようになることを目標として設置している。

また、他コース、他学年の講義を聴く聴講制度、さらに地域活動をすることで単位を取得する自己申告取得単位制度を設け、学生が自主的に学習できる体制を整えている。

「専攻課程」には4つのコースを設けている。学習日数は2年間で40日程度、約80単位に及ぶ。コースの名称は「あったか福祉コース」「ふるさと歴史コース」「さわやか情報コース」「ゆっくり元気コース」である。

① あったか福祉コース

社会福祉一般の理論の学習や実習を通して、福祉活動を考え実践できることを主眼としている。3年生では一步専門的な理論・技術を習得し、現場への実践を交えながら制度への理解を深め、介護を生活に身近な面からとらえ総合的視点で学習する。

4年生では3年時の学習に加え「他を認める」「話を聞く」「話をする」という、人と人の交流の基本を学び経験することは、人が生活し地域社会を構成していく中で必要な「コミュニティ」形成の原点を考え学んでいくことにつながり、市民カレッジ学習の基本である「地域づくり」を根本から学んでいくことにつながると考え、「傾聴」をテーマとした学習にも取り組んでいる。

② ふるさと歴史コース

郷土佐倉の歴史、先覚者、歴史的町並みについて学び、郷土佐倉を愛する心を育んでいく。

その内容は講義形式の授業を受けるだけでなく、自主的にテーマを設定して研究レポートを作成し、発表する主体的な学習を行っており、さらに、今後の地域活動につながるよう、他コースに佐倉の史跡を案内して教えるという「学び合い学習」を行っている。

現在、卒業生による「歴史ボランティア」グループが結成されており、歴史コースでの史跡散策案内や学習補助をボランティアで行っている。

③ 「さわやか情報コース」

デジタルデバイスと言われる情報格差を埋めると同時に、デジタル技術を使用した情報発信を学ぶことで地域の情報の共有化を進めることを目的として、様々な学習を行っている。

佐倉市の情報施策や、情報化社会一般の現状についての講義を聴くほか、情報を伝達する機器を利用して、自主的に地域活動ができるようになるために、３年生では基礎からのパソコン実習、「市民カレッジ情報紙」の作成。４年生ではパソコンの学習成果を活かしたイベントの企画・実施や、デジカメ撮影実習を行っている。また、地域活動における名簿作り。会計資料作成に役立つように、表計算ソフトの講義も行っている。また学習日以外の、パソコン自主学习も盛んである。

そのほか、佐倉市の情報ネットワークの拠点である広域高速ネット２９６スタジオを見学し、高度情報化しつつある地域の現状についての理解を深める学習も行う。

平成２４年度から卒業生のボランティアによってウイルスチェック等のパソコンメンテナンスが行われている。

④「ゆっくり元気コース」

自分の健康管理を自分で行うために必要な知識の習得を講義・実習をとおして行う。

３年生では「歩くこと」を健康づくりの基本と考え、ウォークラリーのコースを作成し、作成されたコースが市民カレッジや地域の行事に活用されることにより市民カレッジ生の地域参画が期待される。そのほか、生活習慣病（成人病）に対する理解と予防、地域ぐるみの健康づくりなどについて学ぶ。さらに、リズム体操や太極拳、ヨガなどの実習をとおして、自分に合った健康づくりを発見する。

４年生では、実践活動を通して、今までの主体的な学習の過程や成果を健康の維持と地域活動への導入を図る。また、各種スポーツイベントに参加し、多様な健康づくり、レクリエーション等への理解を深めるとともに事業の企画運営を考察する。そのほか、健康づくりに関する今後の自分たちの活動について話し合う学習も行っている。

「専攻課程」の学習のまとめとして、それぞれのコースで学習したことを他に伝え・教えることで「学び」を一層深めていく時間として「学び合い学習」を行った。

また「学んだことを活かす」というテーマでそれぞれのコース内で個人発表や話し合いを行い、そして、各コースの代表者による意見発表が行われた。

カレッジでの学習成果や、現在自分が行っている地域活動を紹介する中で、今後の自分の高齢者としての生き方について、長年蓄積した豊かな知識と経験から意見を発表する。それをいかに実践していくかが、市民カレッジを卒業してからの課題となる。

６．佐倉市民カレッジの学習の特色

市民カレッジでは、学習の質を高め、より専門的な学習を行っていくために、他の機関・施設の協力を得て学習を展開している。国立歴史民俗博物館、農林水産省、千葉地方検察庁、千葉県警察、千葉県立中央博物館、佐倉市八街市酒々井町消防組合、広域高速ネット２９６、順天堂大学、東京情報大学、福祉施設などから講師派遣・実習・見学の協力をいただいている。また、これらを含めた平成２４年度の主な校外学習は、以下のとおりである。

① １年 市内めぐり

６月７日、６月１４日にクラス別にそれぞれ実施し、酒々井リサイクル文化センター、しすいハーブガーデン、和田ふるさと館歴史民俗資料室、公益財団法人印旛郡市文化財センターなど市内外の様々な施設を見学してまわり、佐倉市について理解を深めた。

② 専攻課程各コースの校外学習

３学年	５月２０日	歴史	佐倉地区歴史散策
	６月５日	元気	ウォークラリー
	６月２６日	情報	東京情報大学見学と講義
	７月１０日	歴史	志津地区史跡散策

	9月18日	元気	順天堂大学1日体験授業（3・4年合同）
	9月16日	福祉	佐倉ホワイエ見学体験
	9月25日	歴史	本佐倉城跡周辺歴史散策
	9月26日	福祉	国際福祉機器展見学（東京ビッグサイト）
	10月9日	歴史	臼井地区歴史散策
	10月23日	歴史	成田山の歴史を学ぶ（散策）
	10月9日	情報	広域高速ネット296スタジオ見学
	11月20日	元気	ウォークラリーコースを作ろう
4 学年	5月25日	歴史	弥富地区歴史散策
	6月8日	福祉	ユーカリ優都苑見学
	6月22日	歴史	佐倉城と佐倉連隊（散策）
	7月14日	歴史	佐原のまちづくりから学ぶ（散策）
	9月18日	元気	順天堂大学1日体験授業（3・4年合同）
	9月21日	情報	最先端の科学技術に触れてみよう（日本科学未来館）
	9月28日	4コース合同	草笛の丘で自然観察と陶芸
	11月2日	福祉	佐倉ホワイエでの体験学習
	1月11日	歴史	国立歴史民俗博物館見学・講義

7. 平成24年度の主な行事

（1）始業式・入学式

5月12日（土）、始業式に引き続き第21回入学式が行われ、100人の新入生が晴れの日を迎えた。

市民カレッジ総長の蕨和雄市長から「佐倉市民カレッジの建学の精神である『為すことによって学び、学ぶことによってお互いを高めあい、他（た）に尽くす』を心掛けていただき、四年間の学習の中で、知識と人格共に備わったカレッジ生となつていただきますとともに、地域活動の中心的人材となつていただくよう切に願っております。」との祝辞をいただいた。続いて、在校生を代表して歓迎の言葉があり、これを受けて新入生100人を代表して「入学の言葉」があった。

（2）第17回スポーツフェスティバル

市民体育館を会場に10月5日（金）に、クラスや学年を超えた新たな仲間づくりと健康づくりを目標としてカレッジ生全員により盛大に実施された。

種目は、ボール送り、スプーンレース、綱引き、ダンス、風船割り、玉入れ等があり、実行委員会を中心に手作り運動会となった。

（3）文化祭

11月13日（火）から11月17日（土）にわたり、カレッジ生による実行委員会を中心に中央公民館大ホール・カレッジ棟を主な会場として実施した。昨年度に続き、卒業生からもグループ活動発表（パネル展示・研究発表等）に参加があり、より多くの人と新たな交流と親睦を深めた。出品作品は、絵画・書道・手工芸・洋裁・和裁・盆栽と多岐の分野にわたり、それぞれに万感の思いが込められた力作揃いであった。

また、実習・見学でご協力いただいている福祉施設の尿居者の方々にも出品を依頼し、見学と喫茶コーナーに招待した。

最終日の舞台発表の部では、クラス・コース毎に練習の成果を発表し、たのしい有意義なひとときを過ごした。

(4) 「まちづくり実践報告会」 (2年)

2学年は、私たちの考えるまちづくりについて、行動のための具体策を話し合い「まちづくり実践報告会」を実施した。この学習は、カレッジ生個々の市政に対する学習の取り組みを重視する形を取り、市政の学習をもとに自分ならこのようなビジョンを持つと個々に考えをまとめ、その後に課題意識を同じくする仲間グループ(課題部門別)を形成し、各グループ別に調査研究、討議を重ねた内容を実践し、それらの実践活動を、平成25年1月23日(水)に総長を迎えて、1・2年合同の学習形態で、代表者による発表をした。

その発表内容は、「ブログによる佐倉観光案内」「佐倉道の史跡・歴史を双六とみどころガイドに」「サシバのふるさと畔田谷津の自然環境保全と回復」「里山の自然と親しみ、自然から学ぶ～畔田のホタルとシロバナサクラタデ」「学童保育所の児童を対象にした『読み聞かせ』」「こいこ佐倉」「印旛沼サンセットヒルズ野鳥の森の環境整備活動」の7点であった。

(5) 修了式・卒業式

平成25年2月16日(土)に修了式、続いて卒業式を行った。

皆勤者10人を含む90人が、今後の活躍を胸に秘めながら卒業証書を手にした。

蔵総長は「東日本大震災以来、人と人との絆の大切さがさかんに語られております。そのような中で皆様がこれまで学んできた、地域で活動するための知識と技術はますます重要性を増しているものと考えます。」との言葉を述べられた。

卒業生を代表して情報コース柴田伸一さんが卒業の決意を述べ、通い続けた学舎を巣立った。

8. 佐倉市民カレッジ生の課外活動

カレッジ生は自主的に団体を結成し、学習日以外にも積極的に活動している。日頃の学習とは異なり、趣味を深める活動、ボランティア活動及び地域活動など多岐にわたる。卒業生と現役カレッジ生と一緒に活動している団体もあり、その多くは、任意団体であるが、中には特定非営利活動法人もある。

中央公民館では、カレッジ園芸サークルが、異学年や卒業生と交流を深めつつ、公民館周辺の花壇の管理、環境美化をボランティア活動として行っている。四季折々の花が来館者の目を楽しませている。

平成24年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.12 (土)	カレッジ合同 式典	入学式 (入学式後写真撮影)	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマンウイ ンドオーケストラ
2	5.17 (木)	オリエンテー ション	学ぶことの意義 -公民館で学ぶこと・市民カレッジの概要- 自己紹介・役員選出等				中央公民館長 ・ 社会教育指導員
3	5.24 (木)	佐倉市の概要	各地区の成り立ち/ 佐倉の歴史概要	文化課	地域活動(1)/ ホームルーム	園芸と緑化活動/ 市民カレッジ・公民館で の生活	八板義教/ 社会教育指導員 公民館職員
4	5.31 (木)	健康づくり (1)	ウォークラリー -坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩く-				社会教育指導員 カレッジ元気 コース4年生
5	6.7 (木)	地域活動 (2)	2組 地域活動について	越沢七子 中央公民館長	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	避難訓練等	社会教育指導員
		自然と環境 (1)	1組 【バス見学】京成佐倉駅北口 午前8時45分集合 *雨天決行 見学地:酒々井リサイクル文化センター 午前9時出発 午後3時佐倉駅北口解散 和田ふるさと館等 講師 松平喜美代				
6	6.14 (木)	自然と環境 (1)	2組 【バス見学】京成佐倉駅北口 午前8時45分集合 *雨天決行 見学地:酒々井リサイクル文化センター 午前9時出発 午後3時佐倉駅北口解散 和田ふるさと館等 講師 松平喜美代				
		地域活動 (2)	1組 地域活動について	越沢七子 中央公民館長	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	避難訓練等	社会教育指導員
7	6.21 (木)	自然と環境 (2)	水環境と人間生活	印旛沼環境基金 水質研究員 本橋敬之助	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	スポーツフェスティバル・ 文化祭に向けて等	社会教育指導員
8	6.28 (木)	芸術と文化 (1)	佐倉・房総の ゆかりの作家たち(1) -房総の里海と美術-	筑波大学 教授 齊藤泰嘉	社会福祉 (1)	生涯学習社会を すこやかに生きる	川村学園女子大学 教授 齋藤哲瑯
9	7.5 (木)	地域活動(3) ホームルーム	1組 午前:地域活動の実践者に学ぶ(現地視察) 午後:「私の生きがい」発表に向けて 2組 午前:「私の生きがい」発表に向けて 午後:地域活動実践者に学ぶ(現地視察)				
10	7.12 (木)	市政を学ぶ (1)	佐倉市の基本計画と 財政について	企画政策課 財政課	芸術と文化 (2)	佐倉・房総の ゆかりの作家たち(2) -新収蔵作品展鑑賞-	佐倉市立美術館
11	9.6 (木)	個人発表	私の生きがい	社会教育指導員	個人発表	私の生きがい	社会教育指導員
12	9.13 (木)	健康づくり (2)	安心・安全な食	農林水産省 千葉農政事務所	高齢者を取り巻く 犯罪と交通の 知識	振込め詐欺と交通安全	佐倉警察署
13	9.20 (木)	社会福祉 (2)	佐倉市の地域福祉	佐倉市社会福祉協議 会	健康づくり (3)	スポーツフェスティバル に向けて (カレッジ体操)	社会教育指導員
14	9.27 (木)	健康づくり (4)	楽しみながらできる 健康づくりと カレッジ体操	順天堂大学 名誉教授 武井正子	健康づくり (5)	リズムダンス	元気コース卒業生 土肥秀雄
15	10.4 (木)	印旛沼の歴史 (1)	地質時代の印旛沼 印旛沼の一生	NP0水環境研究所 理事長 白鳥孝治	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	スポーツフェスティバル・ 文化祭に向けて等	社会教育指導員
16	10.5 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(4)	佐倉市民カレッジ第16回スポーツフェスティバル 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員
17	10.11 (木)	自然と環境 (3)	房総の海 黒潮と親潮の合流地	元県立中央博物館 望月賢二	健康づくり (6)	リズム体操	日本体育協会一般体 操指導者 麻野和子

平成24年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表(2)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
18	10.18 (木)	自然と環境 (4)	里山の生態	東京情報大学 教授 原慶太郎	市政を学ぶ (2)	佐倉市の環境保全施策 ／佐倉市のごみの減量・ 再資源化について	環境保全課 ／廃棄物対策課
19	10.25 (木)	地域活動 (4)	佐原まちぐるみ博物館 に学ぶ (午前10時～11時30分)	佐原おかみさん会	自然と環境 (5)	谷津環境の保全活動 (現地活動)	佐倉里山クラブ
20	11.1 (木)	社会福祉 (3)	海外の福祉から見る 日本の福祉	立教大学 非常勤講師 久良木香	印旛沼の歴史 (2)	印旛沼と人々の生活 江戸時代の干拓事業	郷土史研究者 鏑木行廣 (元成田高教諭)
21	11.8 (木)	ホームルーム	カレッジ文化祭 に向けて	社会教育指導員	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(5)	カレッジ文化祭 に向けて	社会教育指導員
22	11.15 (木)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(6)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 (11月16日 午前まで) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
23	11.17 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(7)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
24	11.22 (木)	世代間交流 (1)	絆を引き継ぐ 世代間交流	東京都健康長寿医療 センター研究所 客員研究員 大場宏美	世代間交流 (2)	小学生との交流に 向けて	社会教育指導員
25	11.29 (木)	社会福祉 (4)	高齢社会を どう生きるか -少子高齢化社会の 日本の課題-	聖徳大学講師 齊藤ゆか	世代間交流 (3)	小学生との交流に 向けて 活動のための準備	社会教育指導員
26	12.6 (木)	世代間交流 (4)	小学生との交流	社会教育指導員	国際理解	中国のことわざ	成東高校教諭 山本郁夫
27	12.12 (水)		*		1・2年合同 公開講演会	今年の国際情勢	敬愛大学 教授 水口 章
28	1.10 (木)	1・2年合同 公開講演会	平安貴族の一日	元東京情報大学 教授 松田喜好	1・2年合同 公開講演会	民俗学から見た高齢社会	国立歴史民俗博物館 教授 関沢まゆみ
29	1.17 (木)	まちづくり	まちづくりに学ぶ				市民カレッジ 3年生
30	1.23 (水)		*		1・2年合同 私たちの まちづくり	まちづくり実践報告 を聞く	佐倉市長 蔵 和雄
31	1.31 (木)	日本の文学	短歌に親しむ 香取秀真とアラガキ派の 歌人たち	歌人 秋葉四郎	環境と生活	動物に見る環境と生活	歴史民俗博物館 考古研究部助教授 西本豊弘
32	2.7 (木)	消費者教育	自分で守る消費生活	消費生活専門 相談員	自然と環境 (6)	直下型地震と 千葉県地質環境 ・東日本大震災について	茨城大学名誉教授 楡井 久
33	2.14 (木)	病理と予防	ガンの医学	医学博士 長谷川栄一	ホームルーム	2年生に向けて	社会教育指導員
34	2.16 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成24年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表(1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.12 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマンウイ ンドオーケストラ
2	5.16 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	まちづくり (1)	私たちのまちづくり	中央公民館長 富彌孝信 印旛沼ネットワー カーの会
3	5.23 (水)	市政を学ぶ (1)	佐倉市の公園緑地	公園緑地課	まちづくり (2)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
4	5.30 (水)	まちづくり (3)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	地域活動 (1)	住民参加のまちづくり	千葉大学大学院 准教授森永良丙
5	6.6 (水)	共生社会 (1)	人権について	社団法人千葉県人権 啓発センター 常務理事鎌田行平	地域活動 (2)	社会生活と ボランティア活動	千葉県生涯大学 講師 関内直枝
6	6.13 (水)	まちづくり (4)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	地域活動 (3)	ボランティア活動 実践者の発表	活動実践者(子都手 留会・文化財ボラン ティアガイド佐倉)
7	6.20 (水)	まちづくり (5)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	佐倉の歴史 (1)	印旛沼周辺の民俗	成田山靈光館 小倉 博
8	6.27 (水)	市政を学ぶ (2)	佐倉市の児童・青少年 の取り組みについて	児童青少年課	佐倉の歴史 (2)	旧石器時代・縄文時代 印旛沼周辺の人々	市川考古博物館 元館長 堀越正行
9	7.4 (水)	市政を学ぶ (3)	ファシリティマネー ジメントの取り組みについて	資産管理経営室	病理と予防 (1)	シニア世代の心理	放送大学准教授 星 薫
10	7.11 (水)	健康づくり (1)	シニア世代の運動療法	順天堂大学 講師 門屋悠香	市政を学ぶ (4)	佐倉市の健康管理の 取り組みについて	健康増進課
11	7.18 (水)	市政を学ぶ (5)	佐倉市の震災対策と 避難訓練	交通防災課、佐倉市 八街市酒々井町消防 組合	佐倉の歴史 (3)	佐倉藩主 堀田正睦	郷土史研究者 鍋木行廣 (元成田高教諭)
12	9.5 (水)	家庭と法律 (1)	裁判員制度について	千葉地方検察庁	ホームルーム	スポーツフェスティバル に向けて	社会教育指導員
13	9.12 (水)	福祉	地域福祉とは	順天堂大学 准教授 松山毅	自然と環境 (1)	身近な自然環境 に関する最近の話題	県立中央博物館 倉西良一
14	9.19 (水)	市政を学ぶ (6)	高齢者福祉の取組と 認知症	高齢者福祉課	地域活動 (4)	市民協働について	千葉大学 准教授 関谷昇
15	9.26 (水)	自然と環境 (2)	河川湖沼の水辺環境と 水質浄化の考え方	千葉工業大学 教授 瀧 和夫	病理と予防 (2)	メンタルヘルスに ついて	健康増進課
16	10.5 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	佐倉市民カレッジ第15回スポーツフェスティバル 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員
17	10.10 (水)	市政を学ぶ (7)	佐倉市の観光と佐倉・城 下町400年 記念事業	産業振興課	市政を学ぶ (8)	佐倉市の文化・文化財行 政	文化課
18	10.17 (水)	日本の文学 (1)	房総と文学 佐倉の文学風土	江戸川大学 元教授鳥海宗一郎	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員

平成24年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表(2)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
19	10.24 (水)	自然と環境 (3)	印旛沼周辺の野鳥	日本野鳥の会 浅野俊雄	健康づくり (2)	ヨガでリフレッシュ [実技]	健康運動指導士 荒谷美枝子
20	10.31 (水)	家庭と法律 (2)	身近な法律知識 訴訟と人権	弁護士 高須 順一	佐倉の歴史 (4)	佐倉城とその城主	文化課
21	11.7 (水)	日本の文学 (2)	房総と万葉集	万葉研究家 岡本 好	まちづくり (6)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
22	11.14 (水)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 (11月16日 午前まで) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
23	11.17 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
24	11.21 (水)	佐倉の教育	佐倉市の学校教育と佐倉 学	教育センター 社会教育課	まちづくり (7)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
25	11.28 (水)	情報社会 (1)	情報とリスク	東京情報大学 教授 成瀬敏郎	佐倉の歴史 (5)	佐倉(千葉県)の 成り立ち 明治・大正の変遷	日本医史学会議員 四街道市市史編纂主任 樋口誠太郎
26	12.5 (水)	まちづくり (8)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	佐倉の歴史 (6)	紀行文・物語に見る 地域文化	郷土史研究者 鏑木行廣 (元成田高教諭)
27	12.12 (水)	専攻課程の 学習	専攻課程の学習に 向けて 4年生コース代表説明	社会教育指導員	1・2年合同・ 公開講演会	今年の国際情勢	敬愛大学 教授 水口章
28	1.10 (木)	1・2年合同 公開講演会	平安貴族の一日	元東京情報大学 教授 松田喜好	1・2年合同 公開講演会	民俗学から見た高齢社会	国立歴史民俗博物館 教授 関沢まゆみ
29	1.16 (水)	まちづくり (9)	発表に向けて	社会教育指導員	まちづくり (10)	発表準備・リハーサル	社会教育指導員
30	1.23 (水)	まちづくり (11)	発表に向けて	社会教育指導員	1・2年合同 私たちの まちづくり	まちづくり実践報告会	佐倉市長 藤 和雄
31	1.30 (水)	佐倉の歴史 (7)	弥生・古墳・奈良・平安時 代印旛沼周辺の人々	元明治大学図書館 事務部長 熊野正也	共生社会 (2)	メディアにおける 女男平等参画のついて	慶應義塾大学 講師 渡辺真由子
32	2.6 (水)	佐倉の歴史 (8)	佐倉の鉄道発達史	鉄道史研究家 白土貞夫	情報社会 (2)	情報技術の未来	東京情報大学 准教授 マッキン・ケネス・ ジェームズ
33	2.13 (水)	ホームルーム	3年生に向けて	社会教育指導員	病理と予防 (3)	シニア世代の かかりやすい病気	佐倉厚生園 園長 遠山正博
34	2.16 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成24年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.12 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シヤルマンウイ ンドオーケストラ
2	5.15 (火)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	話し合い学習 (1)	福祉コース概要	社会教育指導員 福祉コース卒業生
3	5.29 (火)	障害福祉 (1)	視覚障害を語る	地域福祉ボランティア 飯島 誠 朗読ボランティア こおろぎの会	訪問介護	訪問介護サービスの 社会的役割、職業倫理	佐倉白翠園居宅介護 支援所長 瀧原久美子
4	6.5 (火)	福祉サービス	福祉サービス提供の 基本視点	社会福祉法人 誠友会 理事長 竹内 淳	障害福祉 (2)	障害者(児)福祉制度 の概要とサービス内容	視覚障害者総合 支援センターちば 所長 高梨憲司
5	6.19 (火)	高齢者の身体的 特徴と疾患	高齢者に多い疾患の基礎 知識と予防・対処方法	佐倉白翠園 看護師長 杉田真佐子	施設見学 (1)	千葉県立盲学校 体験学習	千葉県立盲学校
6	7.3 (火)	高齢期の 食生活	高齢期の栄養と食生活のあり方（調理実習）				料理研究家 六嶋美知代
7	9.4 (火)	子育て支援 (1)	子育て支援の 現状と課題	千葉敬愛短期大学 教授 吉村真理子	高齢者福祉 (1)	地域包括支援センターに ついて	臼井・千代田地域包 括支援センター
8	9.18 (火)	施設見学 (2)	佐倉ホワイエの 見学・体験	佐倉ホワイエ	介護演習 (1)	介護技術の基礎 (1)	佐倉白翠園 介護主任 三浦恵子
9	9.26 (水)	施設見学 (3)	国際福祉機器展見学・東京ビッグサイト				社会教育指導員 公民館職員
10	10.5 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（1）	佐倉市民カレッジ第17回スポーツフェスティバル 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.16 (火)	高齢者福祉 (2)	介護保険制度の概要と サービス内容	高齢者福祉課	話し合い学習 (2)	国際福祉機器展を 見学して	社会教育指導員
12	10.30 (火)	4コース合同 講演会（1）	心の健康	東京メンタルヘルス アカデミー チーフカウンセラー 淵上規后子	介護演習 (2)	介護技術の基礎 (2)	佐倉白翠園 介護主任 三浦恵子

平成24年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.13 (火)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（2）	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 (11月16日 午前まで) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他			社会教育指導員 公民館職員	
14	11.17 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（3）	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール			社会教育指導員 公民館職員	
15	11.20 (火)	傾聴	聞く技術	東京メンタルヘルス アカデミー チーフカウンセラー 淵上規后子	障害福祉 (3)	聴覚障害について	佐倉市 障害福祉課長
16	12.4 (火)	施設見学 (4)	特別養護老人ホーム佐倉白翠園の見学 集合 午前9時50分			特別養護老人 ホーム佐倉白翠園	
17	1.15 (火)	子育て支援 (2)	地域で子育て、 みんなで子育て (施設見学・交流、講座)	佐倉保育園	歯科・口腔	噛む喜びと 食べることの意義 8020運動の推進 「噛む・味わう・飲み込む」	歯学博士 鳩貝尚志
18	1.30 (水)	高齢者と 住まい	高齢者にやさしい住まい	建築師 小杉敬太郎	健康づくり	コーディネーション 運動	トレポンテスポーツ クラブ・キャプテン 小瀧 綾
19	2.5 (火)	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員	4コース合同 講演会（2）	伊能忠敬の人間像 —人生を2度生きる—	文学博士 川村 優
20	2.16 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成24年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

学習時間 午前10時～11時50分				午後1時10分～3時			
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.12 (土)	カレッジ合同 式典	入学式 (入学式後写真撮影)	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマンウイ ンドオーケストラ
2	5.15 (火)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	話し合い学習	歴史コース概要	社会教育指導員 歴史コース卒業生 公民館職員
3	5.22 (火)	歴史散策 (1)	歴史コース卒業生から学ぶ 〔佐倉地区史跡散策〕 集合 10時00分 中央公民館 散策 午後3時解散予定				社会教育指導員、中 央公民館職員
4	6.12 (火)	佐倉市の歴史 (1)	本佐倉城跡と臼井城跡の 発掘成果と東国の戦国時 代	独立行政法人人間文 化研究機構 理事 小野正敏	佐倉市の歴史 (2)	井野長割遺跡と佐倉の 縄文時代	文化課
5	6.26 (火)	佐倉市の歴史 (3)	佐倉の歴史的建築物	市文化財審議委員、 文化財建造物保存技 術協会会長 濱島正 士	文化財の保護	文化財の修復と 保存処理	(有)武蔵野文化財修復 研究所 石原道知
6	7.10 (火)	歴史散策 (2)	志津地区の史跡散策 集合 9時30分 ユーカリが丘駅北口下 散策 午後3時 解散予定				NPO法人佐倉一里 塚（カレッジ卒業生）
7	9.11 (火)	佐倉市の歴史 (4)	佐倉城下町の祭礼文化に ついて	祭礼文化研究家 山瀬一男	佐倉市の歴史 (5)	上杉謙信と臼井城合戦 —中世後期の佐倉—	市文化財審議委員 県立四街道高校教諭 遠山成一
8	9.13 (木)	佐倉市の歴史 (9)	都市の人々の生活 - 武家屋敷を中心に -	市文化財審議委員、 国立歴史民俗博物館 准教授 岩淵令治	郷土の先覚者 (1)	津田 仙	津田塾大学 教授 高崎宗司
9	9.25 (火)	歴史散策 (3)	本佐倉城跡周辺の史跡散策 集合 9時30分 京成大佐倉駅改札口外 散策 午後3時現地解散予定				NPO法人まちづく り支援ネットワーク 佐倉
10	10.5 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（1）	佐倉市民カレッジ第16回スポーツフェスティバル 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.9 (火)	歴史散策 (4)	臼井の史跡散策 集合 9時30分 京成臼井駅北口下 散策 午後3時 臼井駅解散予定				佐倉ふるさと談話会 細道恭堂 (カレッジ卒業生)
12	10.23 (火)	町並み散策	成田山の歴史を学ぶ 集合 午前10時 JR成田駅改札口外 散策 午後3時現地解散予定				成田山霊光館 小倉 博

平成24年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.30 (火)	4コース合同 講演会（1）	心の健康	東京メンタルヘルス アカデミー カウンセリング部長 淵上規后子	郷土の先覚者 （1）	佐藤泰然と佐倉順天堂	文化課
14	11.13 (火)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（2）	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 (11月16日 午前まで) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
15	11.17 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（3）	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
16	11.27 (火)	郷土の先覚者 （2）	浅井忠	佐倉市立美術館	佐倉市の歴史 （6）	佐倉藩士と沼津兵学校	歴史民俗博物館 准教授 樋口雄彦
17	12.4 (火)	佐倉市の歴史 （7）	佐倉新町の宿帳にみる人 物	酒々井町文化財審議 委員 高橋健一	佐倉市の歴史 （8）	堀田正倫と幕末・明治 の佐倉の人々	文化課
18	1.22 (火)	佐倉市の歴史 （10）	佐倉藩士	総務課市史編さん担 当 土佐博文	ホームルーム	研究テーマについて	社会教育指導員
19	2.5 (火)	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員	4コース合同 講演会（2）	伊能忠敬の人間像 —人生を2度生きる—	文学博士 川村 優
20	2.16 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 蔵和雄 中央公民館長		*	

平成24年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.12 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマンウイ ンドオーケストラ
2	5.15 (火)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	話し合い学習	オリエンテーション	社会教育指導員 公民館職員
3	5.22 (火)	地域情報誌 づくり	情報紙の記事と レイアウト	千葉日報 編集局次長・論説委員 中元広之	課題学習 (1)	カレッジ情報紙を作ろう ① 編集会議	社会教育指導員
4	6.12 (火)	情報伝達の技術 (1)	ワードを使おう①	パソコンスタッフ カレッジ卒業生 17期情報コース	情報伝達の技術 (2)	ワードを使おう②	パソコンスタッフ カレッジ卒業生 17期情報コース
5	6.26 (火)	情報化時代の 学習 (1) 施設見学	東京情報大学施設見学と講義 会場 千葉市若葉区御成台 午前9時50分集合				社会教育指導員 公民館職員 東京情報大
6	7.10 (火)	情報伝達の技術 (3)	ワードを使おう③	パソコンスタッフ カレッジ卒業生 17期情報コース	情報伝達の技術 (4)	ワードを使おう④	パソコンスタッフ カレッジ卒業生 17期情報コース
7	9.11 (火)	情報化時代の 学習 (2)	インターネット社会とは ① ー過去から未来へー	パソコン インストラクター 小坂大輔	情報化時代の 学習 (3)	インターネット社会とは ② ーインターネット活用術ー	パソコン インストラクター 小坂大輔
8	9.25 (火)	課題学習 (2)	カレッジ情報紙を作ろう ②	社会教育指導員	情報化時代の 学習 (4)	情報モラル ー著作権とはー	(社) 日本映像 ソフト協会 後藤 健郎
9	10.5 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	佐倉市民カレッジ第16回スポーツフェスティバル 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
10	10.9 (火)	情報化時代の 学習 (5) 施設見学	広域高速ネット296スタジオ見学 講話「地域の情報発信ーCATVの可能性ー」 スタジオ見学ー情報が発信されるまでー 集合 9時45分 現地、解散				社会教育指導員 公民館職員
11	10.23 (火)	情報化時代の 学習 (6)	情報社会を考える	東京情報大学 茨木正治	課題学習 (3)	カレッジ情報紙を作ろう ③	社会教育指導員
12	10.30 (火)	4コース合同 講演会 (1)	心の健康	東京メンタルヘルスアカデミー カウンセリング部長 淵上規后子	課題学習 (4)	カレッジ情報紙を作ろう ④	社会教育指導員

平成24年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.13 (火)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（2）	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 (11月16日 午前まで) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他			社会教育指導員 公民館職員	
14	11.17 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（3）	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール			社会教育指導員 公民館職員	
15	11.27 (火)	情報伝達の技術 (5)	デジカメ撮影会&画像処理 撮影会会場ー城址公園ー			パソコン インストラクター 小坂大輔	
16	12.4 (火)	情報伝達の技術 (6)	パワーポイント①	カレッジ卒業生 17期情報コース	情報伝達の技術 (7)	パワーポイント②	カレッジ卒業生 17期情報コース
17	12.18 (火)	課題学習 (5)	カレッジ情報紙を作ろう ⑤	社会教育指導員	課題学習 (6)	カレッジ情報紙を作ろう ⑥	社会教育指導員
18	1.22 (火)	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員	課題学習 (7)	カレッジ情報紙を作ろう ⑦	社会教育指導員
19	2.5 (火)	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員	4コース合同 講演会（2）	伊能忠敬の人間像 ー人生を2度生きるー	文学博士 川村 優
20	2.16 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成24年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.12 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シヤルマンウイ ンドオーケストラ
2	5.15 (火)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	話し合い学習	オリエンテーション	社会教育指導員 公民館職員
3	5.29 (火)	課題学習 (1)	ウォークラリー コースを作ろう (1)	社会教育指導員 公民館職員	生活と健康 (1)	熱中症予防と水分補給 ～暑さに向かって～	NPOニッポン ランナーズ 斎藤太郎
4	6.5 (火)	課題学習 (2)	ウォークラリー ー初夏の風を受け、森林浴ー				社会教育指導員 公民館職員
5	6.26 (火)	生活と健康 (3)	ヘルスプロモーションの 基本	順天堂大学ヘルスプロ モーション・ リサーチ・センター 島内憲夫	地域活動 (1)	地域総合型 スポーツクラブ	NPOニッポン ランナーズ 亀野陽太郎
6	7.3 (火)	生活と健康 (2)	救急法を学ぶ	佐倉消防署	健康づくり (1)	みんなで楽しむ レクリエーション	元社会教育指導員 川口はぎ江
7	9.11 (火)	病理と予防 (1)	生活習慣病と健康	順天堂大学 元准教授 鈴木勝彦	スポーツと健康	チームワークを考える	順天堂大学 スポーツ健康科学部 専任講師 水野基樹
8	9.18 (火)	健康づくり (2)	3・4年元気コース合同 順天堂大学 1日体験学習				順天堂大学 准教授 柳谷登志雄
9	10.5 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	佐倉市民カレッジ第15回スポーツフェスティバル 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
10	10.16 (火)	課題学習 (3)	ウォークラリー コースを作ろう (2)	社会教育指導員 公民館職員	健康づくり (3)	太極拳 静かな動きを 体験しよう	佐倉太極拳同好会
11	10.23 (火)	健康づくり (4)	ニュースポーツに チャレンジ	生涯スポーツ課 (スポーツ リーダーバンク)	自主学習	自主学習と文化祭の 話し合い	社会教育指導員
12	10.30 (火)	4コース合同 講演会 (1)	心の健康	東京メンタルヘルスアカデミー カウンセリング部 部長 淵上規后子	健康づくり (5)	健康体操 ーからだを動かして リフレッシュしようー	NPOニッポン ランナーズ 伊藤友香

平成24年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.13 (火)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（2）	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 (11月16日 午前まで) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他			社会教育指導員 公民館職員	
14	11.17 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（3）	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール			社会教育指導員 公民館職員	
15	11.20 (火)	課題学習 (4)	ウォークラリーコースを作ろう（3） —自分たちでルート（経路）を歩き、ウォークラリーコースを検証する—			社会教育指導員 公民館職員	
16	12.4 (火)	病理と予防 (2)	健康づくりの基本	順天堂大学 名誉教授 武井正子	健康づくり (6)	ニュースポーツに チャレンジ②	生涯スポーツ課 (スポーツ リーダーバンク)
17	12.11 (火)	自主学習（2）	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員	健康づくり (7)	ヨガ ゆったりと リフレッシュしよう	インストラクター 平井美守珠
18	12.14 (金)	健康づくり (8) 3・4年 元気コース合同	スポーツ健康科学 ～体験学習のまとめ～	順天堂大学 准教授 柳谷登志雄	健康づくり (9) 3・4年 元気コース合同	ニュースポーツ大会	社会教育指導員 公民館職員
19	1.15 (火)	生活と健康 (4)	私が行っている 健康づくり [個人発表]	社会教育指導員	健康づくり (10)	リズム体操 音楽に合わせて 動いてみよう	日本体育協会一般体 操指導者 麻野和子
20	2.5 (火)	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員	4コース合同 講演会（2）	伊能忠敬の人間像 —人生を2度生きる—	文学博士 川村 優
21	2.16 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成24年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程

あったか福祉コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.12 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シヤルマンウイ ンドオーケストラ
2	5.18 (金)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて	社会教育指導員
3	6.8 (金)	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて	社会教育指導員	施設見学 (1)	ユウカリ優都苑 (老健施設・グループ ホーム・学童保育)	同所事務局長
4	6.15 (金)	自主企画講座	自主企画講座について (1)	社会教育指導員	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて	社会教育指導員
5	6.29 (金)	障害福祉	知的障害・精神障 害者福祉について	木の宮学園	カウンセリングの 基礎	こころに触れる生かす カウンセリング	東京メンタルヘルス アカデミー チーフカウンセラー 淵上規后子
6	7.6 (金)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	作家 高比良直美	自主企画講座	自主企画講座について (2)	社会教育指導員
7	7.13 (金)	傾聴への あゆみ	聞くから聴くへ	東京メンタルヘルス アカデミー チーフカウンセラー 淵上規后子	傾聴演習 (1)	ロールプレイ (1)	グループ ほっ！と カフェ
8	7.20 (金)	施設見学 (2)	特別養護老人ホーム佐倉白翠園の見学 集合 午前9時50分				特別養護老人 ホーム佐倉白翠園
9	9.7 (金)	介護予防	介護予防体操	高齢者福祉課 岩本絵己	傾聴演習 (2)	ロールプレイ (2)	グループ ほっ！と カフェ
10	9.21 (金)	傾聴演習 (3)	ロールプレイ (3)	グループ ほっ！と カフェ	課題学習 (4)	学び合い学習に向けて	社会教育指導員
11	9.28 (金)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				自然休養村公社 草ぶえの丘職員
12	10.5 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	佐倉市民カレッジ第16回スポーツフェスティバル 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員

平成24年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程

あったか福祉コース（2）

学習時間 午前10時～11時50分					午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.19 (金)	学び合い学習 (1)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員
14	10.26 (金)	学び合い学習 (3)	情報コースを招待して 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	歴史コースを招待して 家庭介護実習	社会教育指導員
15	11.2 (金)	傾聴演習 (4)	佐倉ホワイエでの 体験学習	佐倉ホワイエ・ グループ ほっ！と カフェ	傾聴演習 (5)	傾聴のまとめ	グループ ほっ！と カフェ
16	11.9 (金)	学び合い学習 (5)	元気コースを招待して 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
17	11.16 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 (11月16日 午前まで) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
18	11.17 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
19	12.14 (金)	自主企画講座	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する	社会教育指導員	自主学习	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
20	1.18 (金)	学習のまとめ	福祉活動の実践に 向けて	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
21	2.1 (金)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	学ぶことの意義	総長
22	2.8 (金)	4コース合同 講演会	考古学からみた 日本人としての生き方	明治大学名誉教授 大塚初重	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
23	2.16 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

平成24年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（１）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.12 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマンウイ ンドオーケストラ
2	5.18 (金)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	佐倉の歴史を伝える (学び合い学習に 向けて)	社会教育指導員
3	5.25 (金)	歴史散策 (1)	弥富地区の史跡をめぐる 集合 8時30分 中央公民館 散策 午後3時解散予定				社会教育指導員 公民館職員
4	6.8 (金)	自主企画講座	カレッジ生がテーマを決 め、企画し補習学習する (企画の話し合い)	社会教育指導員	佐倉市の歴史 (1)	佐倉道と成田道	日本交通史学会 山本光正 (歴博元教授)
5	6.22 (金)	歴史散策 (2)	「佐倉城と佐倉連隊」(散策) 集合 9時30分 中央公民館 散策 午後3時城址公園解散予定				佐倉ふるさと談話会 細道恭堂 (カレッジ卒業生)
6	7.6 (金)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 (卒業記念誌作成に向け て)	作 家 高比良直美	課題学習 (2)	佐倉の歴史を伝える (学び合い学習に 向けて)	社会教育指導員
7	7.14 (土)	町並み散策	佐原のまちづくりから学ぶ 集合 午前8時50分 JR成田駅改札口の中 コース 成田駅→佐原駅下車 散策 午後3時 現地解散予定				佐原郷土史家 吉田昌司
8	9.14 (金)	地域活動	歴史ガイドについて	NPO法人佐倉一里 塚(カレッジ卒業生)	課題学習 (3)	佐倉の歴史を伝える (学び合い学習に 向けて)	社会教育指導員
9	9.28 (金)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				自然休養村公社 草ぶえの丘職員
10	10.5 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	佐倉市民カレッジ第16回スポーツフェスティバル 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.12 (金)	佐倉市の歴史 (2)	近現代の佐倉	文化課	佐倉市の歴史 (3)	佐倉連隊と 戦時下の佐倉	国立歴史民俗博物館 特任教授 安田常雄
12	10.19 (金)	学び合い学習 (1)	元気コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	福祉コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員

平成24年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.26 (金)	学び合い学習 (3)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員
14	11.9 (金)	学び合い学習 (5)	情報コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員
15	11.16 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 (11月16日 午前まで) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.17 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 中央公民館職員
17	11.30 (金)	郷土研究 (1)	これからの博物館で 必要なこと	国立歴史民俗博物館 副館長 久留島 浩	郷土研究 (2)	歴博を楽しむ 〔国立歴史民俗 博物館を見学〕	国立歴史民俗博物館 副館長 久留島浩
18	12.7 (金)	自主企画講座	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する	社会教育指導員	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
19	1.25 (金)	学習のまとめ	研究レポートの発表	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	2.1 (金)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	学ぶことの意義	総長
21	2.8 (金)	4コース合同 講演会	考古学からみた 日本人としての生き方	明治大学名誉教授 大塚初重	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.16 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

平成24年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程

さわやか情報コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.12 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シヤルマンウイ ンドオーケストラ
2	5.18 (金)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員
3	5.25 (金)	情報伝達の技術 (1)	ワード ①	パソコンスタッフ カレッジ卒業生 17期情報コース	情報化時代の 学習 (1)	講義	CATV296 平眞児
4	6.8 (金)	情報伝達の技術 (2)	エクセルにチャレンジ ①	パソコンスタッフ カレッジ卒業生 17期情報コース	情報伝達の技術 (3)	エクセルにチャレンジ ②	パソコンスタッフ カレッジ卒業生 17期情報コース
5	6.22 (金)	情報伝達の技術 (4)	エクセルにチャレンジ ③	パソコンスタッフ カレッジ卒業生 17期情報コース	情報伝達の技術 (5)	エクセルにチャレンジ ④	パソコンスタッフ カレッジ卒業生 17期情報コース
6	7.6 (金)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	作 家 高比良直美	自主企画講座	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する (企画の話し合い)	社会教育指導員
7	9.14 (金)	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員	情報化時代の 学習 (2)	コンピューターの 過去・現在・未来	東京情報大学 (講師未定)
8	9.21 (金)	情報化時代の 学習 (3) 施設見学	【最先端の科学技術に触れてみよう】 会場 日本科学未来館 ゆりかもめ「テレコムセンター駅」下車、徒歩5分 集合 午前10時30分 現地集合 午後2時 現地解散				社会教育指導員 公民館職員
9	9.28 (金)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				自然休養村公社 草ぶえの丘 職員
10	10.5 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	佐倉市民カレッジ第15回スポーツフェスティバル 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.12 (金)	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員	課題学習 (4)	学び合い学習に向けて ④	社会教育指導員
12	10.19 (金)	学び合い学習 (1)	福祉コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	元気コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員

平成24年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程

さわやか情報コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.26 (金)	学び合い学習 (3)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
14	11.9 (金)	学び合い学習 (5)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	歴史コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員
15	11.16 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 (11月16日 午前まで) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.17 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	11.30 (金)	情報化時代の 学習 (4)	報道の現場から	日本テレビ放送網 放送部講師 町田博祐	情報化時代の 学習 (5)	おカネとITの 経営戦略	東京情報大学 講師 樋口大輔
18	12.7 (金)	自主企画講座	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する	社会教育指導員	自主学习	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
19	1.25 (金)	学習のまとめ	情報コース卒業生 の活動紹介	前年度卒業生 社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	2.1 (金)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	学ぶことの意義	総長
21	2.8 (金)	4コース合同 講演会	考古学からみた 日本人としての生き方	明治大学名誉教授 大塚初重	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.16 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

平成24年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.12 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマンウイ ンドオーケストラ
2	5.18 (金)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員 元気コース卒業生
3	5.31 (木)	地域活動 (1)	実践活動 ウォークラリーー坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩くー (1年生のウォークラリーーの際のスタッフとして活動)				社会教育指導員
4	6.13 (水)	自主企画講座	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する (企画の話し合い)	社会教育指導員	健康づくり (1)	コーディネーション運動 自ら楽しむ健康	トレポントスポー ツクラブ・キャプテン 小瀧 綾
5	7.6 (金)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	作家 高比良直美	地域活動 (2)	ターゲットバード ゴルフ	ターゲットバード ゴルフ協会
6	7.13 (金)	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員	健康づくり (2)	高齢者のための 3B体操	社団法人 日本3B体操協会 鈴木静江
7	9.14 (金)	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する② (企画の話し合い)	社会教育指導員	自然観察の すすめ	都市近郊の 野鳥の生態	日本野鳥の会 浅野俊雄
8	9.18 (火)	健康づくり (3)	3・4年元気コース合同 順天堂大学 1日体験学習				順天堂大学 准教授 柳谷登志雄
9	9.21 (金)	健康づくり (4)	健康を保つ食事作り (調理実習)	料理研究家 六崎美知代	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員
10	9.28 (金)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				自然休養村公社 草ぶえの丘 職員
11	10.5 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	佐倉市民カレッジ第15回スポーツフェスティバル 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
12	10.19 (金)	学び合い学習 (1)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員

平成24年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.26 (金)	学び合い学習 (3)	歴史コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	情報コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
14	11.9 (金)	学び合い学習 (5)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	福祉コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
15	11.16 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 (11月16日 午前まで) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.17 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	12.7 (金)	自主企画講座	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する	社会教育指導員	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
18	12.14 (金)	健康づくり (5) 3・4年 元気コース合同	スポーツ健康科学 ～体験学習のまとめ～	順天堂大学 准教授 柳谷登志雄	健康づくり (6) 3・4年 元気コース合同	ニュースポーツ大会	社会教育指導員 公民館職員
19	1.18 (金)	学習のまとめ	卒業後の健康づくり まちづくり 【個人発表】	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	2.1 (金)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	学ぶことの意義	総長
21	2.8 (金)	4コース合同 講演会	考古学からみた 日本人としての生き方	明治大学名誉教授 大塚初重	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.16 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

5. 広報・展示事業

広報事業

「公民館だより」

- ね ら い 中央公民館主催事業や中央公民館の使用申込みについてなどを紹介する。
- 発行回数 年1回
- 発行部数 500部
- 配布方法 各公民館、図書館、コミュニティセンター
- 内 容 佐倉市民カレッジ であい課程・専攻課程の概要、文化祭、スポーツフェスティバル
まちづくり実践報告会、サークル活動 他
- 展 望 佐倉市の広報紙と連携をとりながら、幅広い紙面づくりに心がけたい。

「なかま」

- ね ら い 市民の手による、市民の「心の交流の場」づくりをめざします。
- 発 行 年12回（毎月1回）
- 発行部数 毎月1, 500部（年間1, 500部×12ヵ月＝18,000部）
- 配布方法 市内公民館・図書館・保険福祉センター・佐倉一里塚・市内各駅等で配布。
また、編集委員による配布や市民ハイキング参加者への配付も行っています。
- 編集方法 佐倉市民カレッジ生とその卒業生からなるボランティア編集委員16名が編集会議を毎月2回開催しています。
編集会議では、原稿の内容上の個々の事項についての検討とその処置、校正・割付けなどの編集作業と、年間計画やこれからの方向性などについて話し合いを行います。
また平成17年度からは佐倉市民カレッジ情報コース卒業生がボランティアで版下作成を行っています。
- 内 容 A4版4ページの体裁で、1面は市長及び編集委員の原稿、2・3面は市内在住の市民の方から頂いた投稿文を掲載しています。4面は中央公民館の主催事業や公民館からのお知らせ、コラム的なさくら道、編集委員によるあとがきを掲載しています。
平成20年6月には編集会議が、(社)日本善行会から特別表彰善行賞を受賞しました。
「なかま」は毎月発行されておりますが、平成22年2月には創刊から数えて400号となりました。
なお、平成24年度の1面から3面の題と投稿者は次のとおりです。

「なかま」掲載記事

発行年月	号 数	主 な 内 容
平成24年 4 月	426号	吾輩はひよどり（続編）（編集委員 田村孝則） 里山で見かけたもの（安保昌浩） 断捨離の成果（都築洋子） 年寄りの感傷（塚原謙二） 節目の年（鈴木正記）
5 月	427号	小学生の頃（編集委員 大蔵 康次） 押し花作り（伊藤 和宏） 馬渡の小字「経塚」（三田俊郎） 江戸のリサイクル（永見 一） 画僧・青山了泰（村田長保）
6 月	428号	そば打ち名人（編集委員 坂本初男） マラソン大会あれこれ（桐生 炬夫） 夜泣き石（宮本定雄） 御成街道（岡部成一） 子供の笑顔（新田清代士）

7 月	429号	あれから1年（編集委員 鶴木聖次） 花笠まつり（伊藤信子） 「個人版私的整理」は助け舟になるか（廣吉正毅） 少年時にすんだ大連の思い出（中村一郎） 東京スケッチブック（西脇弘子）
8 月	430号	「佐倉むらさきの会」で学ぶ（編集委員 稲田圭佑） 往なす堤防（宮崎英一） 「茨城県水戸・笠間の旅行記」（N. M） 子供の笑顔（大三川高治） 佐倉市カレッジ卒業（薄井 隆）
9 月	431号	タイタニックよ！お前、まだ生きていたのか（編集委員 田中修司） 「市民の黒子」を実践しよう（斎藤 雄） 感じるままに思いつくままに（柴田伸一） 雑感一閑中忙あり（福島健司） ほたるいか（阪井二郎）
10月	432号	雑感二題（編集委員 松山洋子） 鐘道さま（林 久子） 風にそよぐムクロジの木（三田俊郎） 男子厨房に立つ（富田 栄） 与太郎の短歌（藤田 恭）
11月	433号	近くて遠い故郷（編集委員 千葉偉固） 柿（高木 佳昭） 「すぐやる課」課長（今井信行） 医者の一言（宮武孝吉） マジックアワー（岡田幸男）
12月	434号	登山の魅力（編集委員 鶴田行男） 蓬莱橋（大川義郎） 国際森林年に思う（清澤瞳子） 昭和生まれの俺達は（及川栄喜） 陸軍中野学校二俣分校（井上恭二）
平成25年 1 月	435号	新春に寄せて（佐倉市長 蔵和雄） 世代間いきいき交流（根岸英昭）江戸初期の識字教育（近藤 守） もうすぐ55年です（菅原敏一） ホテルが結びつけた仲間との出会い（山中健雄）
2 月	436号	帰郷（編集委員 猪俣民子） 世紀の鳥人（宮本定雄） 私の宝物（大三川高治） 空腹の喜び（小田眞二） 影絵塾となかま（矢動丸 公）
3 月	437号	「学校でのいじめ」について（編集委員 服部一宏） 東京マラソンボランティア（斎藤 雄） 中国を旅して（中村一郎） 臼井城について（太田道灌と上杉謙信）（安保昌浩） 根室の鮭（阪井二郎）

6. 団体育成事業

調理室利用グループによる調理室点検

- 開設趣旨 調理室を定期利用しているグループに対し、お互いの交流の機会を作ると共に、調理室の効率的な活用と適正な運営を図る。
- 開催期日 ①平成24年6月25日（月） 午前10時～11時30分
②平成24年12月10日（月） 午前10時～11時30分
- 対 象 調理室を定期利用しているグループ
①13団体 ②13団体
- 内 容 1) 調理室の清掃
2) 公民館備品の整理・点検
3) グループ備品の整理
4) グループ間の懇談

5) 公民館への要望

佐倉地区子ども会育成会連絡協議会

佐倉地区子連は、佐倉地区内の子ども会及び子ども会を取り巻く諸関係機関団体との連絡・調整を図り、各単位子ども会の健全な発展に寄与することを目的として結成されました。会の運営は、役員が中心となっており、総会・役員会・各事業などを実施しています。中央公民館では、事務局としての役割、子ども会安全会等の申込みの受付、佐倉市子ども会育成連盟との連絡、備品の貸与等を行っています。子どもの成長にとって、地域における子ども会の役割は、重要性はと思われるので、これからも活動を支援していきたい。

〈単位子ども会数及び会員数〉

- ・単位子ども会 7 団体
- ・会員数 3 4 5 人(前年度比較 1 2 人減少)
- 内 訳 幼児 3 8 人(前年度比較 7 人増加)
- 小学生 2 5 8 人(前年度比較 2 2 人減少)
- 育成者 4 9 人(前年度比較 3 人増加)

〈主な行事〉

実施月日	事業	内 容	会 場
平成 24. 4. 24 (火)	平成 24 年度総会	平成 23 年度事業報告 平成 23 年度決算報告 平成 24 年度事業計画 平成 24 年度予算案	中央公民館 学習室 1
平成 24. 5. 8(火)	佐倉市子ども会育成連盟 定期総会	平成 24 年度総会	市役所 1 号館 6 階 大会議室
平成 24. 6. 7 (木)	印旛郡市子ども会育成者講習 会	育成者講習会	富里中央公民館
平成 24. 6. 11 (月)	佐倉市子ども会育成連盟 育成者講習会	ゲーム講習会 ～作って遊ぶ魚つり～	青少年体育館
平成 24. 6. 23 (土)	印旛郡市子ども会実践体験研 修会	野外でごはんを炊いてみよう	八街市スポーツプラザ
平成 24. 7. 15 (火)	千葉県子ども会育成連盟ドッ ヂビー講習会	ドッジビー講習会	千葉県青少年女性会館
平成 24. 9. 4 (火)	第 1 回役員会	中央交流フェスティバル について	中央公民館 研修室 1
平成 24. 10. 30 (火)	第 2 回役員会	中央交流フェスティバルについて クリスマスパーティについて	中央公民館 研修室 1
平成 24. 11. 4 (日)	佐倉市子ども会育成連盟 中央交流フェスティバル	あそべ！日本むかしばなし	佐倉市民体育館
平成 24. 11. 11 (日)	房総子どもかるた県大会審判 講習会	房総子どもかるた県大会審判講習 会	千葉県青少年女性会館
平成 24. 12. 4 (火)	第 3 回役員会	クリスマスパーティについて	中央公民館 工芸室
平成 24. 12. 25 (火)	佐倉地区子連クリスマスパー ティ	吹奏楽団、パントマイムによるク リスマスパーティ	中央公民館 大ホール
平成 25. 2. 3 (日)	千葉県子ども会育成研究協議 会中央大会	地域で育つ子どもたちについて	山武市蓮沼スポーツプラザ
平成 25. 3. 12 (火)	第 4 回役員会	平成 24 年度活動報告及び 平成 25 年度事業計画	中央公民館 学習室 2
平成 25. 3. 24 (日)	房総子どもかるた探検隊	バス研修	鋸山、マザー牧場コース バス移動
平成 25. 3. 28 (木)	佐倉市子ども会育成連盟 第 2 回役員会	平成 24 年度活動報告及び 平成 25 年度に向けて	市役所社会福祉センター 地下会議室